

冬季スポーツ科学

研究会

さいたまフォーラム特別講演

「2002 年ソルトレイク

冬季五輪雑感」

久永 勝一郎 氏

(財) 日本スケート連盟会長



2002 年 9 月 24 日発行

第13回 冬季スポーツ科学フォーラム プログラム

期日 2002年10月14日(月)～10月15日(火)

会場 埼玉大学



会場の埼玉大学教育学部

<会議1日目> 10月14日(月)

一般発表会場 教育学部C1教室

15:30 受付開始

16:00 一般発表 座長：川初 清典(北海道大学)

1) クロスカントリースキー競技における全日本ナショナルチームと
フィンランドナショナルチームのトレーニングの比較。

○竹田 正樹(同志社大学)

2) 遠赤外線加温装置により誘導したHSP70による生体防御作用への応用
～クロスカントリースキー選手の競技力向上への応用～。

○小川 耕平¹ 田澤 賢次¹ 吉井 美穂¹ 北條 直美¹ 古谷 由香里¹
伊藤 要子²

(1 富山医科薬科大学医学部看護学科成人看護学外科系、2 愛知医科大学医学部放射線医学教室)

3) スキー技術選手権大会における大回り・急斜面・整地の技術特徴。

○竹田 唯史(北海道浅井学園大学)

17:30 運営委員会

18:00 懇親会

懇親会会場

大学会館2階「きゃら亭」小集会室1

<会議2日目> 10月15日(火)



懇親会場「きゃら亭」

会場：大学会館3階大集会室

9:00 一般発表 座長：三浦 望慶（上越教育大学）

1) スキージャンプの飛行後半における空中姿勢の特性．

○水崎 一良 山辺 芳 渡部 和彦（広島大学大学院）

2) ショートトラックスピードスケート地域ジュニア選手の
パワー発揮特性に関する縦断的事例研究．

○三浦 哲（新潟県スポーツ医科学センター）三浦 望慶（上越教育大学）

10:00 シンポジウム 司会：渡部 和彦（広島大学）

「ソルトレイクの反省と対策：冬季スポーツトレーニングセンターを考える」

船渡 和男（国立スポーツ科学センター）

結城 匡啓（信州大学、日本スケート連盟コーチ）

川初 清典（北海道大学）

鈴木 典（日本大学、全日本スキー連盟クロスカントリーコーチ）

12:00 昼食

13:00 特別講演 司会：浅野 勝己（筑波大学名誉教授）

「2002年ソルトレイク冬季五輪雑感」

久永 勝一郎 氏

（財）日本スケート連盟会長

．

14:30 総会

閉会

日本スケート連盟会長

久永 勝一郎 氏を迎えて

今回の冬季スポーツ科学フォーラムでは、日本スケート連盟の久永会長に講演をお願いしています。久永氏を迎えるにあたって運営委員の浅野勝己先生（筑波大学名誉教授）より、次のようなコメントをいただきました。

ソルトレークでは、日本のスピードスケートの活躍が大きかった。そのバックでどのようなサポートがなされたのか、貴重な話が伺える機会だと思う。また、ソルトレークでは、ジャッジの在り方についても、問題となった。直接、久永氏の話伺えるチャンスは、めったにない。皆様に、ぜひ、聞いていただきたい。



講演会場の大学会館「大集会室」

皆様の参加をお持ちしています。

フォーラム当日の申込もできます。

編集部より

冬季スポーツ科学フォーラムは今回で第13回を迎えます。埼玉大学での開催にあたって、事務局をやっているのは、広島大学大学院の山辺^{かおる}芳氏。ご本人いわく、「渡部先生のご指名ですので・・・」。広島にあって、埼玉会議の準備をするのは、なかなかご苦労が多いのではないかと思います。たまたま、広報担当の飯塚が埼玉大学の近所に住んでいますので、「お手伝いを」と、思っています。

フォーラムが第13回を迎えることができたのは、おめでたいことです。しかし、フォーラムといっしょに、みんな13歳、年をとったのかと思うと、喜んでばかりもられません。会報の発行も10年を超え、編集の方法にも、もっと若い人の知恵が借りられたらと思います。

今回、会議の事務局をお引き受けいただいた山辺さんは、今までのどの事務局担当よりも若い、という点で特筆すべきです。大学院を修了された後も、フォーラムを、活動の場の一つとしていただければなあ、と思います。

編集部 飯塚

第 13 回 冬季スポーツ科学フォーラム (於 埼玉大学) 参加申込

お申し込みがまだの方は、電子メールまたは FAX でどうぞ。

電子メールで

e-mail でのお申込は、下記 fax 申込の内容を明記のうえ、次のアドレスまで

tokisports@hotmail.com

「冬季スポーツ科学フォーラム」のホームページからお申し込みいただけます。

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tospo>

FAX で

13th Japanese Forum for Winter Sports Sciences

in SAITAMA

2002 年 10 月 14, 15 日 埼玉大学 大学会館

fax 参加申込票

氏名

所属

連絡先 電子メールアドレス

住所 〒

電話

fax

懇親会に参加

する

しない

(会場にて集金)

新会員募集中

冬季スポーツ科学に関心のある方、歓迎します。先生方、学生さんにご紹介ください。

年会費 一般 2000 円 学生 1000 円

申し込みはホームページから <http://home.hiroshima-u.ac.jp/tospo>

または、当日、受付にてどうぞ。

第 13 回「冬季スポーツ科学フォーラム」 会場までの案内

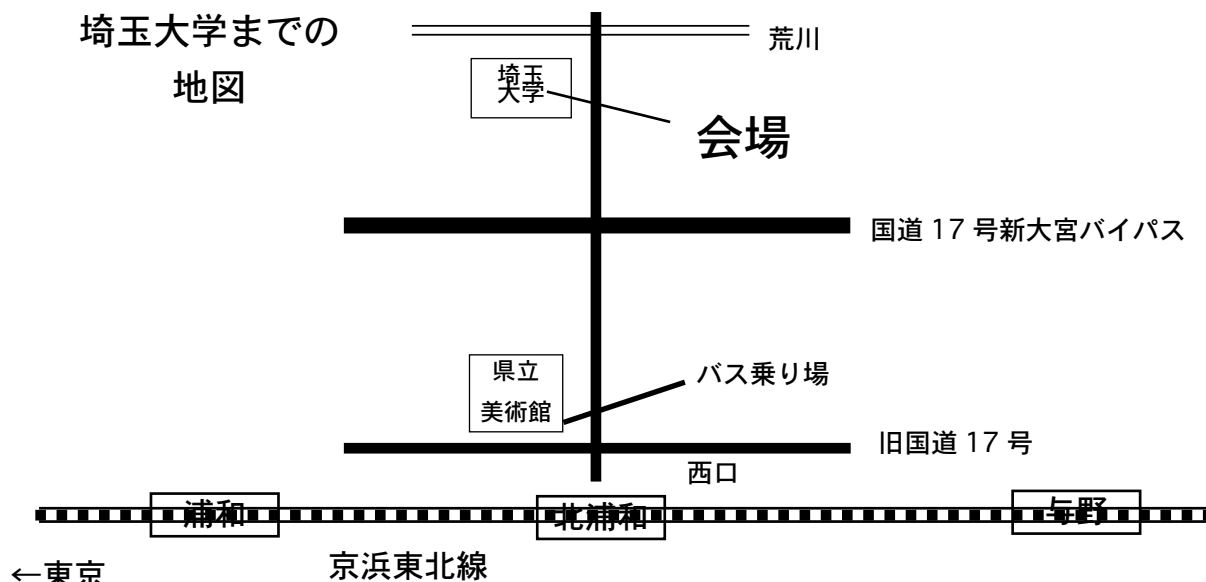
埼玉大学 〒338-8570 さいたま市下大久保 255

交通 京浜東北線 北浦和駅西口下車

埼大行き バス 15 分 埼大下車

なお、同大学ではフォーラムに先立って、「日本体育学会」が開催されます。

埼玉大学までの 地図



冬季スポーツ科学研究会

事務局 〒739-0046 東広島市鏡山 1-1-2 広島大学教育学部

健康スポーツ科学講座

渡部和彦

直通電話 0824-24-6840 直通 fax 0824-24-5265

会報作成 飯塚邦明 電話 fax 048-874-3159